

巻頭言

産業理工学部は平成一六年に九州工学部から改組転換して誕生しました。『かやのもり』は、文系の経営コミュニケーション学科を加えた産業理工学部の紀要として、これまでの理系学科を中心とした紀要の紙面構成を大きく変えて平成一七年（二〇〇五年）に誕生しました。刊行回数も年二回とし、今回で第九号になりました。

この間十八歳人口の減少に伴い大学の生き残りは激しさを増しています。文系として誕生した経営コミュニケーション学科は、今年度から経営ビジネス学科に名称変更されました。来年度に向けて、経営ビジネス学科にはスポーツマネジメントコースを追加し、生物環境化学科ならびに電気通信工学科には新たなコースも設置する予定です。

近畿大学学園の建学の精神は、「実学教育と人格の陶冶」です。この建学精神に基づき、本学部では文系と理系の魅力をあわせ持った文理融合の新しい学部として、産業や社会のニーズと深く関わり、人と自然が共生する環境調和型社会、時や場所を選ばず情報技術を利用して、きる社会、人と産業との調和のとれた社会、他者と相互共益を促進させる社会構築に向けて、新しい発想と実践的な技術を持った人材を育てることを目標にしています。

大学教育では国際通用性を備えた教育の構築が問われており、自ら考え、行動し、そしてチームの一員として働く力をもった社会人として学生を社会に送り出すことが期待されています。産業理工学部の目標は、こうした社会の要請にも対応したものです。産業理工学部としては、各学科の教育内容をわかりやすく伝えるとともに、さらに文理融合学部として既存の学問分野を越えた研究や教育を促進し、その成果を『かやのもり』を通して広く発信していきたくと考えています。

今後とも『かやのもり』に、皆様のご支援とご鞭撻をお願いする次第です。

学部長 長谷川 徹也